

授 業 科目名	教職論		開講年次	1	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための必修科目				
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目					
各科目に含めることが必要な事項		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				
サブタイトル	教員としての意識形成の確立			担当者	丸橋 唯郎	
授業概要	【概要】 現代社会における教職の重要性の高まりを考慮しつつ、教職に固有な知識、技能、能力、資質、役割、あるいは、職務内容、教科書採択、教育方法などについて学習する。基本的に教育原理で獲得した知識をフルに活用する。 【到達目標】 ① 自立する専門職としての教職の属性（＝教職の専門職性）、および教職の職業的特徴を理解する。 ② 教育現場に立つ者としての意識を確立する。 ③ 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解する。					
履修条件	教育原理単位取得者であることを前提とする。					
教科書・ 参考書	【教科書】 『自己意識研究の現在』ナカニシヤ出版。 【参考書】 『日本教師教育学会年報』日本教師教育学会編 『教育思想史事典』勁草書房。					
授業回数	授業内容					
1	教員の求められる役割と資質能力。 予習：教職の意味を考える。復習：教職の意味をまとめる。					
2	教職観の歴史的変遷 --- 教員像の歴史的展開 予習：歴史的かつ理想的な教師像を考える。復習：理想的とは何かまとめてみる。					
3	教職の意義と生涯学習。 予習：教職の意義について調べる。復習：生涯学び続ける意味を考える。					
4	進路選択に資する各種機会の提供等 予習：進路について考える。復習：他の進路との相違性について検討する。					
5	教職の職務内容と服務上の義務 予習：教員の役割について考える。復習：具体的な役割と義務をまとめる。					
6	教員評価と教員の専門性 予習：専門性と力量の重要性を考える。復習：プロとして身につけるべき専門性についてまとめてみる。					
7	教員の資格と免許状 予習：教員免許状の種類を調べる。復習：免許状の種類を類型化しておく。					
8	国公立・私立学校の教員の任用 予習：教育の種類を調べる。復習：私学、公立の違いについてまとめておく。					
9	教育公務員の研修と大学院就学休業 予習：専修免許状について調べる。復習：取得システムを知り、その条件を理解する。					
10	教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） 予習：教員の仕事の内容を調べる。復習：研修、服務の意味を確認しておく。					
11	地方公務員法と教育公務員特例法 予習：教員に関する法律を調べる。復習： 両法律の相違性を明確化し、理解する。					
12	教員の処分 予習：処分の段階について調べておく。復習：具体的な処分事案を調べ、その妥当性を検討してみる。					
13	チーム学校運営① --- 学校と専門家との連携--- 予習：学校と内外専門家との連携を確認する。復習：連携の具体的方法について考える。					
14	チーム学校運営② --- チームとしての学校--- 予習：組織的運営の意味を理解する。復習：組織運営上不可欠な連携、分担、課題等を調べてみる。					
15	理想の教員像 予習：力量を伴う指導者像をイメージする。復習：力量の視点から、理想の教師像を再考する。					
評価方法	授業中に複数回行なう小テスト（90%）、受講意欲・態度（10%）で評価する。					
評価基準	S・A：授業内容をよく理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低 限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している、F：評価不能。					
その他	特になし					